

第 3 編

第三期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略

1. 計画策定の趣旨

国では、全国的な人口減少や少子高齢化に的確に対応し、人口の減少に歯止めをかけるとともに、東京圏への人口の過度な集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保することで将来にわたって活力ある日本社会を維持していくため、平成26年9月に「まち・ひと・しごと創生法(平成26年法律第136号)」(以下「法」という。)を制定し、同年11月に施行しました。

同年12月には「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」及び人口減少と地域経済縮小の克服やまち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指して「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定、公表され、令和元年12月には、「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下、「第2期国総合戦略」という。)が策定、公表されました。

さらに、令和4年12月には、第2期国総合戦略で掲げた社会課題について、デジタルの力を活用した解決への取組を加速化・深化させるため、第2期国総合戦略を抜本的に改訂し、令和5年度を初年度とする5か年の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を新たに策定しています。

法第10条では、市町村は国や県の総合戦略を勘案して、区域の実情に応じたまち・ひと・しごと創生に関する施策についての基本的な計画を定めるよう努めることが規定されており、本市においても、将来にわたって活力あるまちを維持していくために、志木市の人口の現状と将来の展望を提示する「志木市人口ビジョン」を策定し、これを踏まえ、平成28年1月に第一期となる「志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和3年2月に「第二期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第二期志木市総合戦略」という。)を策定し、目標の実現に向けてさまざまな施策に取り組んできました。

この度、令和7年度をもって第二期志木市総合戦略の計画期間が終了することから、引き続き、地方創生の取組を推進するとともに、デジタルを活用した社会課題の解決を実現していくため、新たに「第三期志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「第三期志木市総合戦略」という。)を策定するものです。

2. 第三期志木市総合戦略の位置づけ

第三期志木市総合戦略は、志木市人口ビジョンを踏まえ、今後5か年の目標や施策の基本的方向と具体的な施策を示す計画です。

本市においては、市の最上位計画である「第二次志木市将来ビジョン」に第三期志木市総合戦略を内包し一体的に策定することで、総合的で一貫性のあるまちづくりを推進していきます。

3. 計画期間

第三期志木市総合戦略の計画期間は、「第二次志木市将来ビジョン(第六次志木市総合振興計画)前期実現計画」との整合を図り、令和8年度から令和12年度までの5年間とします。

4. 目標指標・重要業績評価指標（KPI）の設定

第三期志木市総合戦略で設定する基本目標ごとに、計画期間である5年後に実現すべき成果(アウトカム)に関する目標指標を設定するとともに、基本目標ごとに掲げる具体的施策については、客観的な重要業績評価指標(KPI)を設定します。

5. デジタル田園都市国家構想総合戦略との関係

国が策定したデジタル田園都市国家構想総合戦略では、地方においては、それぞれの地域が抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築するとともに、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力を活用した地域間連携やデジタル実装の推進策に取り組むことが求められています。

第三期志木市総合戦略については、デジタル田園都市国家構想総合戦略及び第3期埼玉県まち・ひと・しごと創生総合戦略を勘案して策定します。

■ デジタル田園都市国家構想における施策の方向

(1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上

- ① 地方に仕事をつくる
- ② 人の流れをつくる
- ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ④ 魅力的な地域をつくる

(2) デジタル実装の基礎条件整備

- ① デジタル基盤整備
- ② デジタル人材の育成・確保
- ③ 誰一人取り残されないための取組

6. 目指すべき将来の方向

第三期志木市総合戦略は人口ビジョンと関連する計画であることから、目指すべき将来の方向は、志木市人口ビジョンに掲げる方向と同じものとして整合を図ります。

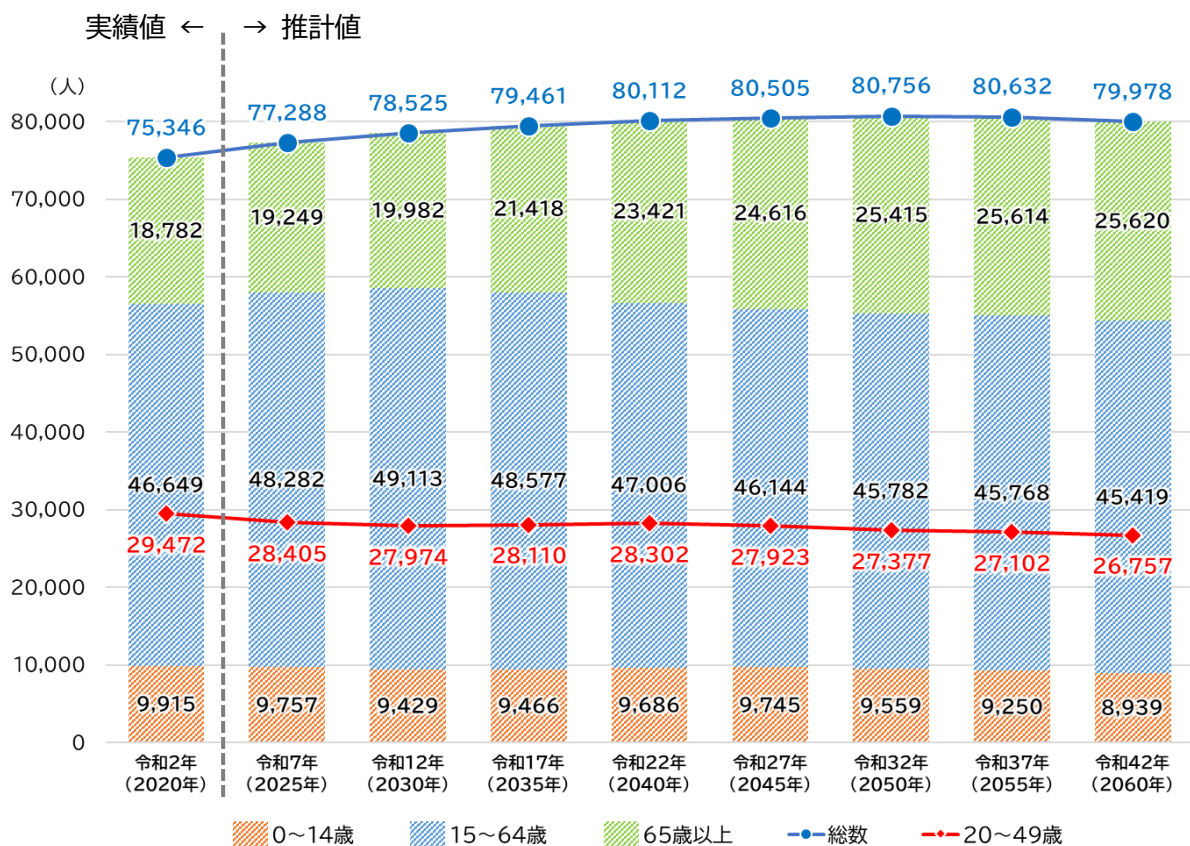
方向① 誰もが安全・安心に住み続けられるまちづくりによる人口流出の抑制

方向② 子育て世代をターゲットとした転入促進

7. 人口の将来展望

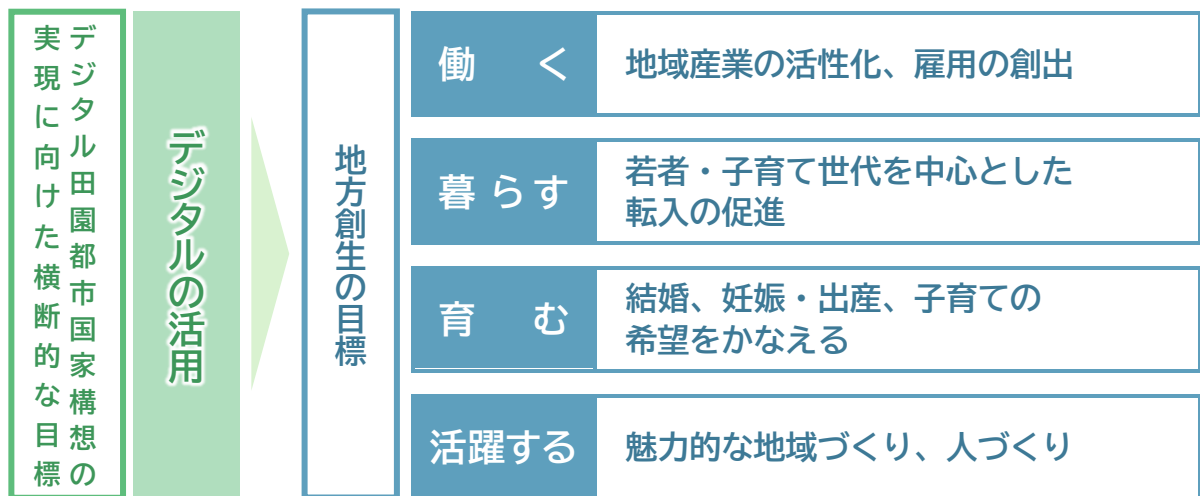
本市の将来人口については、「志木市人口ビジョン」で掲げた目標との整合を図ります。今後もまちの将来像の実現に向けた各種施策を推進していくことで、さらなる人口増加を目指します。

<志木市の将来の目標人口>



第三期志木市総合戦略では、「地域産業の活性化、雇用の創出」、「若者・子育て世代を中心とした転入の促進」、「結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる」、「魅力的な地域づくり、人づくり」の4つの基本目標を設定し、まち・ひと・しごとの創生に取り組むとともに、デジタル田園都市国家構想の実現に向けた横断的な目標として「デジタルの活用」を設定します。

基本目標ごとに掲げる施策は、第2編の第二次志木市将来ビジョン・前期実現計画で掲げる基本的施策及び具体的施策に紐づけて設定し、第二次志木市将来ビジョンと第三期志木市総合戦略の連動による効果的・効率的な施策展開を目指します。



横断的目標

デジタルの活用

まちづくりにかかるさまざまな分野でデジタル技術の導入を推進しながら、デジタルの力を活用した施策を横断的に展開していくことで、本市が抱える社会課題の解決をはじめ、市民サービスや地域の魅力のさらなる向上を目指します。

基本目標1
働 く

地域産業の活性化、雇用の創出

持続可能な都市として成長していくためには、地域産業の振興により地域内の経済循環を高めていくことが重要となります。都心のベッドタウンとしての性格を有する本市では、就業者の多くが市外に通勤していることから、地域産業の活性化と市内就業者数の増加を目指します。

【目標指標】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年度)
法人市民税均等割納税義務者数	2,228 社	2,300 社

【関連する具体的施策】

第二次志木市将来ビジョン・前期実現計画に示す「3-1-2 活気ある商工業の振興」、「3-2-2 中心市街地活性化」等、基本目標の達成に資するすべての具体的施策を対象とします。

【主な重要業績評価指標(KPI)】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年度)
中心市街地にかかる補助制度の利用件数	3件	30件

基本目標2
暮 ら す

若者・子育て世代を中心とした転入の促進

暮らしを支えるさまざまな都市機能が整備された利便性の高い居住環境づくりを推進するとともに、本市の質の高い教育の提供に向けた取組の積極的な情報発信により、これからの志木市を支える若者・子育て世代の転入促進を図ります。

【目標指標】

指 標	現状値(令和 6 年)	目標値(令和12年)
20～40歳代の転入超過数	145 人	370 人

【関連する具体的施策】

第二次志木市将来ビジョン・前期実現計画に示す「3-3-2 安全で快適な公園の整備」、「2-2-1 子どもたち一人ひとりの可能性を伸ばす教育の推進」等、基本目標の達成に資するすべての具体的施策を対象とします。

【主な重要業績評価指標(KPI)】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年)
放課後子ども教室登録率	68.1%	75.0%
中学校教員が週4コマ以上の乗り入れ指導を実施している中学校区数	1 中学校区	4 中学校区

基本目標3
育 む

結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

切れ目のない支援の充実を図りながら、結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえられる環境づくりに一体的に取り組み、「志木市で子どもを産みたい、育てたい」と思えるまちづくりを推進します。

【目標指標】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年度)
年少人口	9,316人	9,500人

【関連する具体的施策】

第二次志木市将来ビジョン・前期実現計画に示す「1-1-3 途切れることのない健康づくりの推進と環境づくり」、「2-1-1 妊産婦と子ども・子育て世帯への支援」等、基本目標の達成に資するすべての具体的施策を対象とします。

【主な重要業績評価指標(KPI)】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年度)
「こども誰でも通園制度」の登録率	—	50.0%

基本目標4
活躍する

魅力的な地域づくり、人づくり

駅前のにぎわいや河川をはじめとする豊かな自然環境、地域の特性や市民力を活かしたイベントや祭り等、本市が有する多様な魅力の維持・充実を図るとともに、それらを市内外に積極的に情報発信していくことで、本市のブランド力の向上や郷土愛の醸成、来訪者の増加を目指します。

【目標指標】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年度)
定期外乗降客数(1日平均)	41,866人	43,000人

【関連する具体的施策】

第二次志木市将来ビジョン・前期実現計画に示す「3-2-3 地域の観光資源の発掘と魅力的な事業の展開」、「5-2-3 シティプロモーションの推進」等、基本目標の達成に資するすべての具体的施策を対象とします。

【主な重要業績評価指標(KPI)】

指 標	現状値(令和 6 年度)	目標値(令和12年度)
市民(団体)が、まちのにぎわい創出を目的に、開催したイベントに対する支援件数	15件	20件
市公式SNS総登録者数	24,723人	27,000人